

# 記

自然写真家

・高砂淳二 × ロタホール

# 憶

地球を舞台に、心と自然の声に従って、「いつもその時に気が向いたものを撮っています」という自然写真家・高砂淳二がやって来たのはロタ島。これまで対峙してきた、海、空、星、虹、雲などなど、地球の“もと”がギュッと凝縮されたこの島で、自然の叡智に導かれるように向かった先はロタホールだった。

●撮影/高砂淳二 ●デザイン/中村孝子 ●モデル/稲生薫子 ●構成・文/寺山英樹 ●協力/マリアナ政府観光局、NMDOA(北マリアナダイビング事業組合) ●器材協力/TUSA



ロタホールに踏み入った瞬間、高砂淳二は、とある少女の言葉を思い出していた。

数年前、海をテーマにした写真展を開催した時、母に手を引かれて3歳くらいの女の子がやってきた。女の子はしばらく海の写真を見つめた後、母の方を振り返ってひと言。「おかあさんのお腹の中みたい」

### 胎内の記憶

「3歳の女の子の言葉を聞いたとき、海に浮かんでいる時の不思議な安心感や水に溶け込む感覚は、やはりその奥に、生まれる前の記憶か、人類が海の中にいた時の記憶が関係しているのかも、と素直に思いました」地球にぽっかり空いた穴の中。光のシャワーが降り注ぎ、水に拡散して煌めいている神秘的なシーンを目の当たりにした高砂は、その光景と少女の言葉を重ね合わせ、そして、深く納得した。

世界一美しいと言われるロタホール。そこは、“母なる海”のお腹の中。高砂が写真家として追い求めているテーマ、“地球をとりまく自然の神秘や生命とのつながり”そのものだった。

記 自然・音楽 高砂淳二 × ロタホール 憶



記 自然・風景 高砂淳二 × ロタホール 憶



青 高砂淳二 × ロタホール 光



# 青 光

高砂淳二 × ロタホール

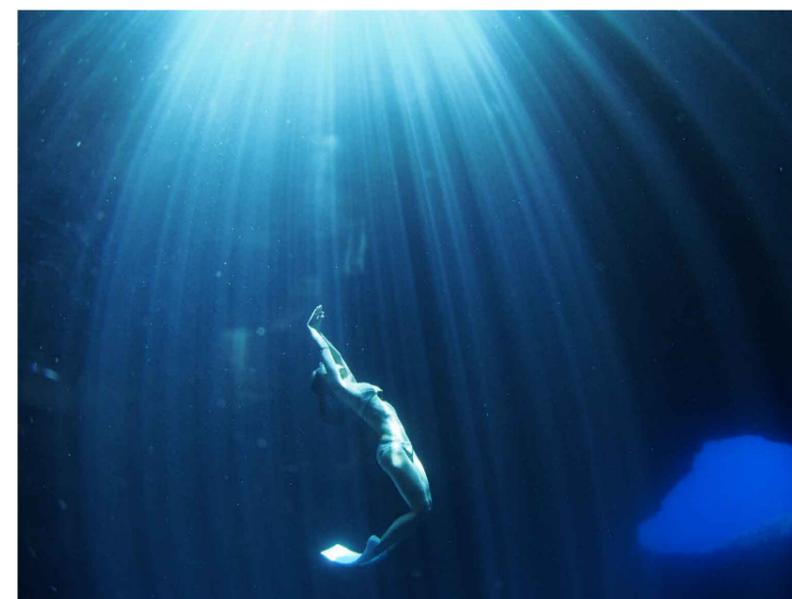
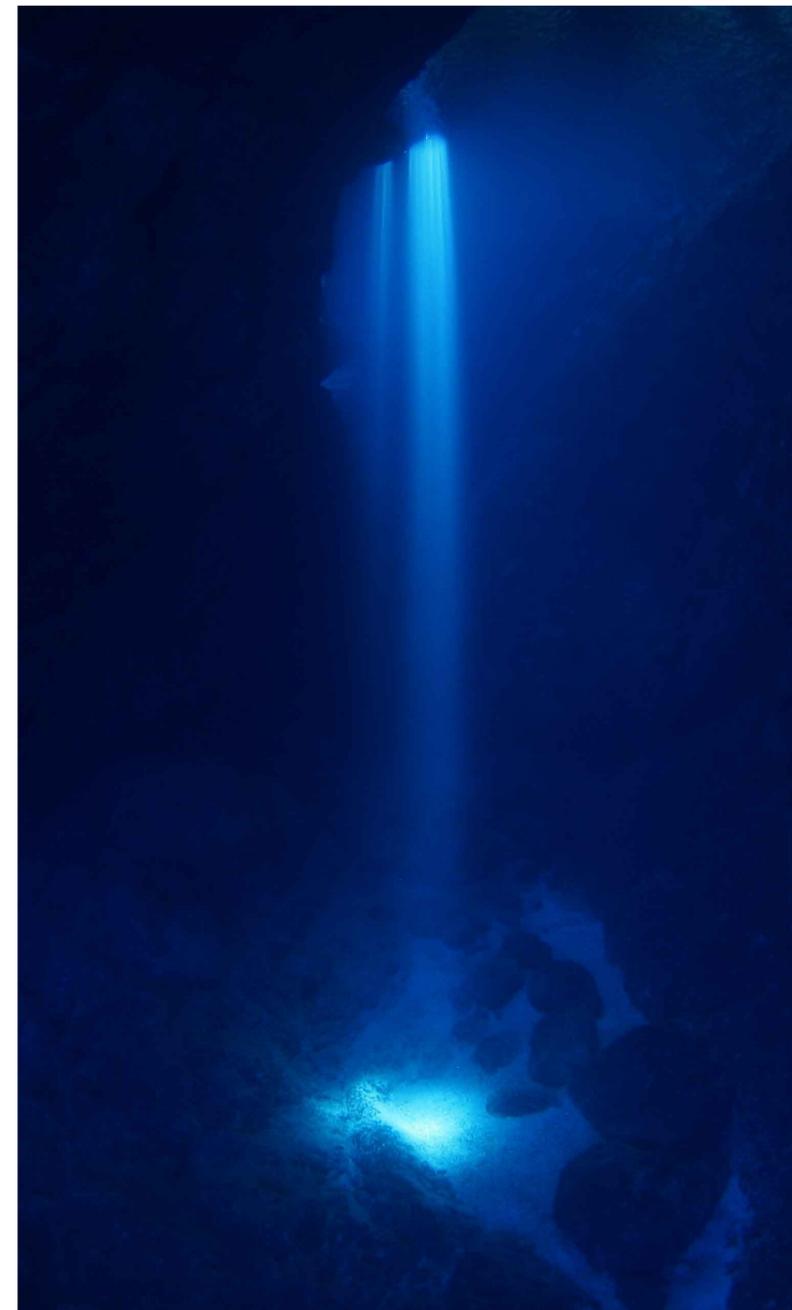
## 青色は生命を育む色

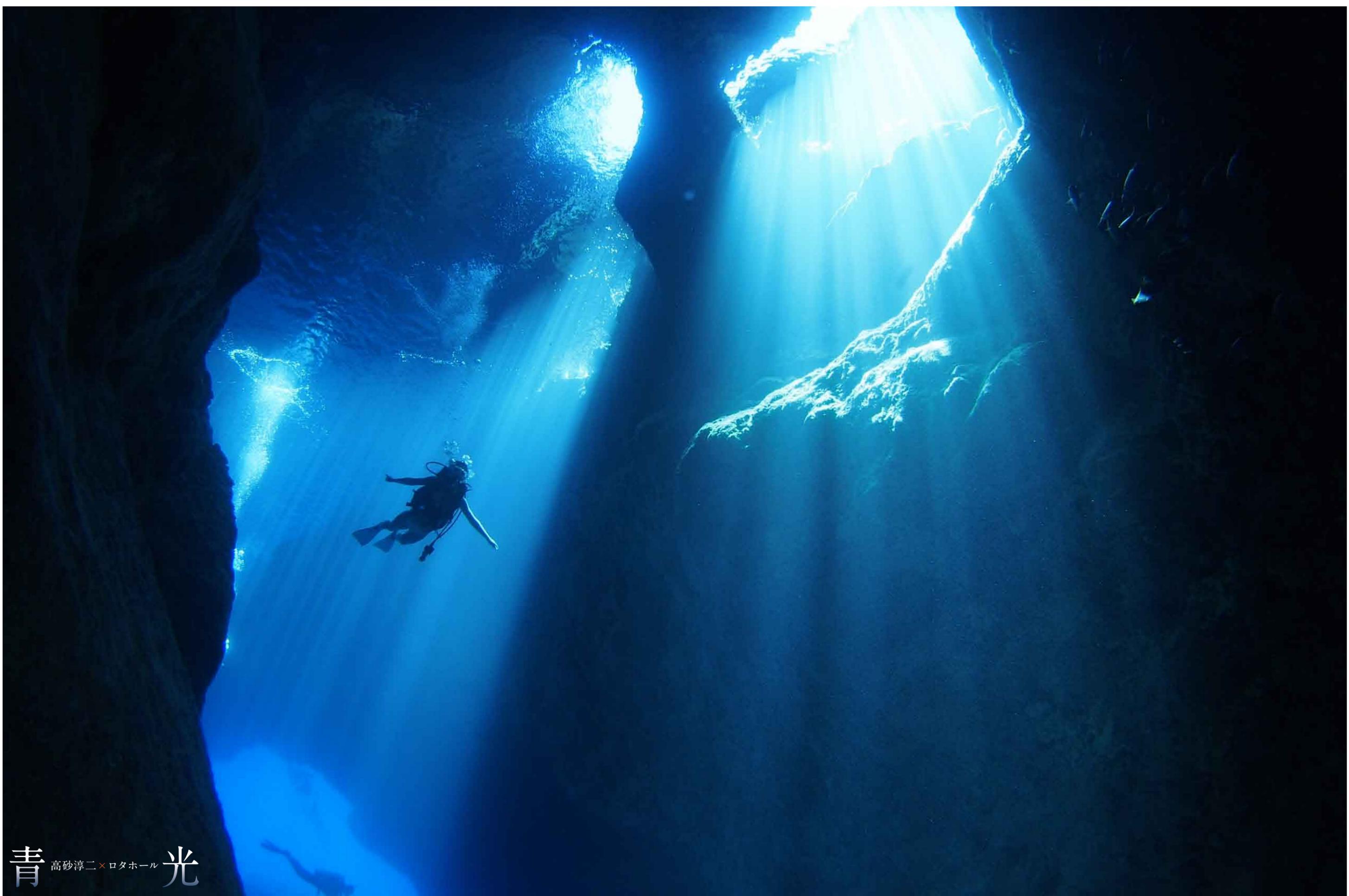
高砂が20年にわたって撮影し続けてきた“海の青”をテーマにした写真集「BLUE」(小学館)。出版に際し、「なぜ、青色なのか?」と問われた時に、高砂が残した言葉である。「僕は“青”という色が、なにか自然の神秘を象徴するようで好きなんです。それに、海は生命の源で、“母なる海”と言われるくらいですから、僕が“青”に魅かれるのは、そんな“生命を育む色”に抱かれる安心を無意識に感じているのかもしれない」

時に50mを超える透明度が創り出す“ロタブルー”。この特別な青と光の競演を堪能できる極上の舞台がロタホールだ。

## ロタホール ～ROTA HOLE～

北マリアナが世界に誇るホールポイント。横穴から中に進むと、目の前には縦穴から差し込む強烈な光の柱。時間と共に形を変化させる。最初は、一筋の光がスポットライトのように水底17mに差し込み、カーテンが広がるよるに徐々に幅が増していく。そして、ついには放射状の神々しい光となる。光の柱を越えて、さらに奥に進むと、小さなホールがあって、アカマツカサやハタンボが群れている。エアドームになっているので、浮上すれば水面から顔を出せる。





青 高砂淳二 × ロタホール 光

手つかずの大自然が残るロタ島。  
夜は静寂の世界……



Fin.

# Nature Island Rota



海と山に囲まれた大自然あふれるロタ。青と緑の世界で、燃えるような火炎樹（フレイムツリー）が、強烈に主張している



昼に空を見上げれば虹のかけ橋。夜に空を見上げれば満天の星



ルビンでは、ダイビングだけでなく、海遊びも楽しめる。ウエイクボードのほか、サーフィンがプロ並みの山本さんが、ウエイクサーフィンを手ほどきしてくれる

ロタを象徴するシーンといえば千本ヤシ。太平洋戦争後、米国政府によって1000本のヤシが植林された（現在は数百本ほど）

## 大自然あふれる静寂の島

サイパンから小型機に乗っておよそ30分。大自然に囲まれたロタは、大自然に囲まれた伊豆大島ほどの小さな島。

よい意味で何もない素朴な島で、人工音がまったくないのが不思議な気分。コンドミニアムタイプのホテルに滞在し、ダイビングを楽しんだ後は、家族や恋人、気の置けない友人たちと、ゆっくりとした時間を楽しみたい。

高砂さんは、「何にも考えなくていい、お店に繰り出して無理して大騒ぎしなくてもいい、そんな、素に戻れる島ですね」と目とキラキラさせ、ずっと空を見上げながら、虹や星、鳥の撮影に夢中。童心にかえって、海と自然と触れ合うのがロタの正しい過ごし方だ。

## ロタリゾート&カントリークラブ Rota Resort & Country Club

フィリピン湾を見渡す丘陵地に建つ、大自然に囲まれた全室スイートのリゾートホテル。コンドミニアムタイプなので、ファミリーやダイバー仲間、ハネムーンなどに人気。長期滞在もOK。オーシャンビューのプールサイドで優雅なひと時を。



ロタの海を案内してくれたのは……

RUBIN (ルビン)  
～ ROTA SCUBA CENTER ～  
<http://rotarubin.com/>

オーナーガイドの山本博さん、キャプテンのビン、陸上はお任せの康代さんと、海に陸に、ロタを案内するアットホームなお店。「快適、楽チン、キレイ」というモットー通り、港はすぐ目の前で、ボードもきれいだ。サービスも行き届いていて、快適にダイビングをお約束。また、ビフォーアフターダイビングも充実しているのが嬉しい。ガイド歴24年のベテラン山本さんは、世界中の海を潜り歩き、透明度に惚れ込んでロタに移住。「この海の良さを一人でも多くの人に知って頂き、大自然を守ってあげたいと思っています」

